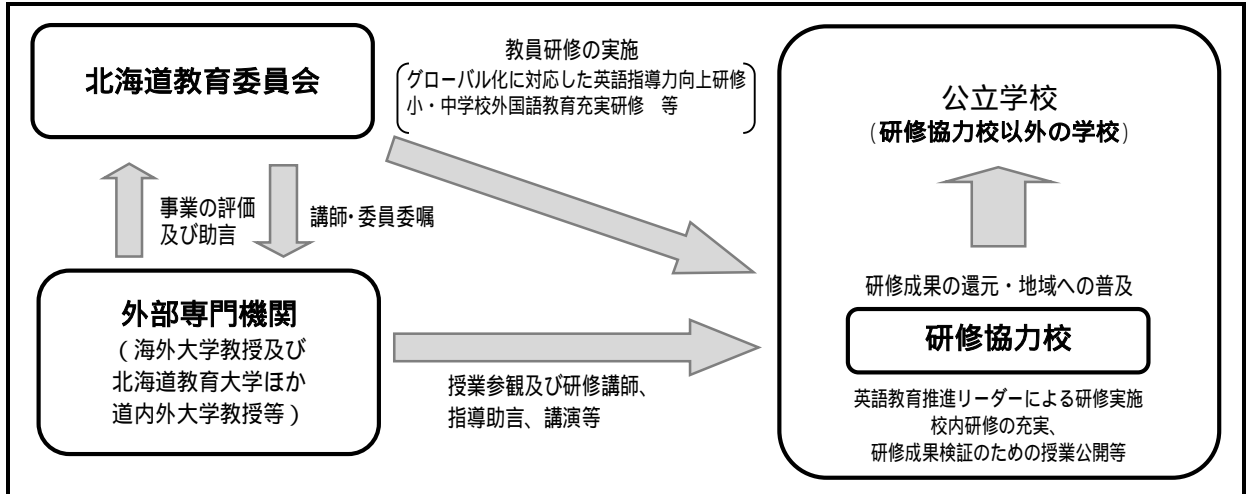


北海道英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

「英語教育実施状況調査」結果を踏まえた目標・数値指標の設定について

平成30年度「英語教育実施状況調査」における北海道の現状は、次のとおり。

- ・求められる英語力を有する教師の割合 … 中 36.2% 高 49.2% (中 33.1% 高 50.7%)
- ・求められる英語力を有する生徒の割合 … 中 30.0% 高 38.4% (中 32.8% 高 36.9%)
- ・学習到達目標の設定状況 … 中100.0% 高100.0% (中100.0% 高100.0%)
(カッコ内はH29)

昨年度における同調査結果と比較すると、中学校においては、教師の英語力が向上するとともに、CAN-DOリストの設定状況は100%となった。また、道立高等学校においては、生徒の英語力が向上するとともに、CAN-DOリストの設定状況は100%となった。今後、生徒の英語力及び教師の英語力の目標を達成するためには、様々な取組を一層、推進する必要がある。

このようなことから、本道の英語教育に関する平成30年度までの目標値及び国が示す目標を踏まえ、「目標管理書」(様式10)のとおり設定し、次の施策を講じる。

北海道独自の目標・数値の設定について

小学校外国語教育の早期化・教科化への対応や、新学習指導要領の円滑な実施ができるよう、教師の英語力・指導力の向上を図る必要があることから、北海道独自の目標・数値として、一定の英語力を有する小学校教師の新規採用者の割合を2025年度までに50%とする。

参考

道教委では、小学校の教員採用選考検査において、次の資格を有する者は、第2次検査のリスニング検査を免除している。

- ・中学校又は高等学校英語の免許状
- ・英検準1級
- ・TOEFL PBT 550点(iBT 80点)以上
- ・TOEIC 730点以上

平成30年度は、登録者の7.4%が免除
採用検査の内容について今後検討

目標達成に向けた手立てについて

求められる英語力を有する担当教師の全担当教師に占める割合

- ・中央研修へ参加する教師を全道各地からバランスよく選出し、育成された英語教育推進リーダーによる研修を全道各地で計画的に実施することにより、全道の小学校教師及び中学校英語担当教師の英語力・指導力の底上げを図るとともに、指導主事の学校教育指導等を通じて、

学習別到達目標を活用した授業改善等について指導助言する。

- ・道立教育研究所において、カナダ・アルバータ州立大学教授を講師に招聘してオールイングリッシュで研修する「小学校外国語教育に求められる実践的指導力向上研修講座」の内容の充実を図り、参加教師の英語運用能力の向上を図るとともに、各地域の研究会等での還元を促す。
- ・道立教育研究所の外国語研修講座及び各種研修会に参加する英語担当教師に対し、外部検定試験の助成制度を周知するとともに、受験を促し、CEFRのB2レベル相当（英検準1級等）以上の達成を目指す。
- ・外部検定試験の助成制度に関するリーフレットを作成し、各学校に周知するとともに、指導主事の学校教育指導訪問等において、小学校教師及び中学校英語担当教師に対し、積極的な資格取得を促す。
- ・資格試験団体と連携し、英語担当教師の積極的な資格取得を促進する新たな支援策を検討し、英語担当教師のCEFRのB2レベル相当（英検準1級等）以上の達成を目指す。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、英語担当教師に対して、積極的な資格取得を促す。

求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

- ・中学校の授業改善を目的とした「英語教育推進校事業」を実施し、推進校においてパフォーマンステストによる学習到達状況の把握を計画的に位置付けた授業実践を行い、授業公開等において、その成果を普及し、全道の英語担当教師の英語力・指導力の底上げを図る。
- ・授業における英語担当教師の英語使用状況の改善や生徒の英語による言語活動時間を増加させることにより、生徒が授業の中で英語に触れる機会や、英語を用いてコミュニケーション機会の充実を図る。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を分析し、4技能の定着状況及び、授業改善の方策を明らかにする。
- ・中・高等学校の英語担当教師に対して、「教育課程改善協議会」等において、道教委が毎年作成している「中学校教育課程編成の手引」や「高等学校教育課程編成・実施の手引」を活用し、今後求められる授業改善の在り方や生徒の英語力等について周知するとともに、指導主事の学校教育指導訪問等において、生徒の英語力向上に向けた指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、英語担当教師に対して、生徒に求められる英語力について周知し、授業改善を図る。
- ・学校教育指導訪問等において、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を測定するパフォーマンステストによる学習到達状況の把握により、具体的な授業改善につながるPDCAサイクルを確立するよう指導助言するとともに、全道の優れた事例を取りまとめ情報提供する。

「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

- ・道立教育研究所の外国語指導力向上研修講座において、学習到達目標の作成と活用の講座を設け、受講者の理解を深める。
- ・英語教育に関する研修会等において、パフォーマンステストによる学習到達状況の把握を計画的に位置付けた授業改善について、指導助言を行う。
- ・「教育課程改善協議会」等において、「中学校教育課程編成の手引」や「高等学校教育課程編成・実施の手引」を活用し、中・高等学校の英語担当教師に対して、学習到達目標の設定と公表及びパフォーマンステストによる学習到達状況の把握について取り上げ、今後求められる授業改善や英語担当教師の英語力・指導力について周知するとともに、指導主事の学校教育指導訪問等において、授業改善に向けた指導助言を行う。
- ・研究協力校で作成したCAN-DOリストの形式での学習到達目標について、公開研究会における研究協議や、大学教授等の有識者で構成する町内の英語教育推進会議等において助言を得ながら、改善を図り、Web掲載等により広く発信する。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、公開研究会等において、CAN-DOリストの形式での学習到達目標やその活用について指導助言するとともに、全道の優れた事例を取りま

とめ、学校教育指導訪問等において情報提供する。

授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

- ・「教育課程改善協議会」等において、「中学校教育課程編成の手引」や「高等学校教育課程編成・実施の手引」を活用し、生徒の英語による言語活動の充実について取り上げ、中・高等学校の英語担当教師に対して、今後求められる授業改善の在り方や英語担当教師の英語力・指導力について周知するとともに、指導主事による学校教育指導等において、授業改善に向けた指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、公開研究会等において、生徒の英語力向上に向けた授業改善を図るよう指導助言するとともに、全道の優れた事例を取りまとめ、学校教育指導訪問において情報提供する。

「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

- ・英語教育に関する研修会等において、パフォーマンステストによる学習到達状況の把握を計画的に位置付けた授業改善について、指導助言を行う。
- ・道立教育研究所の外国語教育関連講座において、パフォーマンステストの実施について指導し、各学校への普及を促す。
- ・「教育課程改善協議会」等において、パフォーマンステストの実施について取り上げるとともに、指導主事の学校教育指導訪問等において、実施状況等を確認し、改善に向けた指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、各学校において、パフォーマンステストの実施により、生徒の英語力を適切に把握し、評価結果を学習の指導の改善に活用するよう指導助言する。

授業における、英語担当教師の英語使用状況

- ・生徒が授業の中で英語に触れる機会や、英語を用いてコミュニケーションを図る機会の充実を図るため、学校教育指導訪問等において、授業における英語担当教師の英語の使用状況の改善や生徒の英語による言語活動時間の増加などについて、重点的に指導助言を行う。
- ・「教育課程改善協議会」等において、「中学校教育課程編成の手引」、「高等学校教育課程編成・実施の手引」を活用し、生徒の英語による言語活動の充実について取り上げ、中・高等学校の英語担当教師に対して、今後求められる授業改善の在り方や英語担当教師の英語力・指導力について周知するとともに、指導主事による学校教育指導訪問等において、重点的に指導助言を行う。
- ・校長会や英語教育研究団体と連携を図り、公開研究会等において、授業を英語で行うことを基本とすることについて指導助言するとともに、全道の優れた事例を取りまとめ、学校教育指導訪問において情報提供する。

研修実施回数、研修受講者の人数及び全担当教師に占める割合

- ・道立教育研究所で実施する研修講座に加え、今後、英語教育推進リーダーを講師として活用し、教育局・ブロック単位での研修を拡充して実施する。

求められる英語力を有する小学校教師の新規採用者の割合

- ・北海道教育大学などと連携し、教師の資格取得を促進する新たな支援策を検討する。

(3) 研修の体系と内容の具体

道教委が実施する外国語担当教師向け研修講座				
研修名	対象者	目的・内容	予定者数	実施期間
外国語教育充実研修	小中 教員	<p>【小学校教員対象】</p> <p>目的 異文化理解やコミュニケーション能力の基礎を育成する授業づくりの狙いや進め方について理解を深め、実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。</p> <p>日数 3日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>対象者 小学校教員</p> <p>開催日 8月6日(火)～8日(木)</p>	小18名 中14名	小 H28～新規 中 継続実施
		<p>【中学校教員対象】</p> <p>目的 国際理解教育やコミュニケーション能力を育成する授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。</p> <p>日数 3日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>対象者 中学校英語担当教員</p> <p>開催日 10月1日(火)～3日(木)</p>		
「外国語教育に求められる実践的指導力向上」研修	小中 教員	<p>【小学校教員対象】</p> <p>目的 オールイングリッシュによる授業づくりをどのように進めるとよいか、5つの領域を扱ったコミュニケーション活動についての理解を深め、英語力と実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。</p> <p>日数 3日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>開催日 8月27日(火)～29日(木)</p> <p>その他 アルバータ州立大学教授を講師として招聘し、オールイングリッシュで研修を実施する。</p>	小18名 中14名 高10名	継続実施 (H13～)
		<p>【中学校教員対象】</p> <p>目的 オールイングリッシュによる授業づくりをどのように進めるとよいか、5つの領域を扱ったコミュニケーション活動についての理解を深め、英語力と実践的な指導力を高めるとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。</p> <p>日数 3日間(会場：北海道立教育研究所)</p> <p>開催日 9月10日(火)～12日(木)</p>		

外国語指導助手(ALT)等の指導力向上研修	小中高 教員 ALT	<p>【道主催】 目的 道立学校や市町村のALT等を対象として、外国語教育に関する必要な知識や指導技術等の習得を図るとともに、外国語教育に係る諸問題についての理解を図る。 日数 1日間×2会場（札幌市及び帯広市） 対象者 外国語指導助手（ALT）、外国語活動を行っている小学校教員、中学校・高等学校の英語担当教員等 開催日 8月下旬～9月中旬までの2日間 その他 アルバート州立大学教授を講師として招聘し、子どもの興味や関心、意欲を高める活動の演習や教員とALTとの効果的なTTの協議等について、オールイングリッシュで実施する。</p> <p>【国主催】 目的 道立学校や市町村のALT等を対象として、外国語教育に関する必要な知識や指導技術等の習得を図るとともに、外国語教育に係る諸問題についての理解を図る。 日数 2日間（札幌市） 対象者 外国語指導助手（ALT）、外国語活動を行っている小学校教員、中学校・高等学校の英語担当教員等 開催日 12月上旬または中旬を予定 その他 国際交流員などの外国人等を招聘し、ALTが日本の文化について理解を深めるための説明や教材の活用、指導方法に関する協議等を実施する。</p>	小55名 中65名 高80名 ALT420名	継続実施
英語教育推進リーダーによる研修（グローバル化に対応した英語指導力向上研修）	小中高 教員	<p>目的 指導者養成を目的として中央研修に参加した英語教育推進リーダーの「研修実習」としての研修を実施するとともに、参加教員の指導力向上を図る。 日数 3日間×36会場（全道一円） その他 小学校中核教員及び中・高等学校全英語担当教員を対象に、中央研修を受講した教員を研修講師として、様々な演習を中心に各校種の英語教育の高度化に対応した内容とし、全道各地で研修を実施する。</p>	小 265名 中 270名 高 220名 計 755名	H26-H31 （6年間）
計			小 356名 中 363名 高 310名 ALT420名 計 1759名	

上記研修のほか、初任段階教師研修や中堅教諭等資質向上研修における教科別研修や教育課程改善協議会においても、英語教育の授業改善に関する研修内容を位置付け実施する。

小学校外国語活動巡回指導教師研修事業において、巡回指導教師に対して新学習指導要領を踏まえて、ミニ研修や模範授業等を実施するよう促し、ミニ研修等で作成した資料を取りまとめ、北海道の全ての小学校に提供するなどして、移行期間における外国語活動の授業改善を図る。

研修を受講した参加者を、小学校外国語活動巡回指導教師研修事業等、英語教育関連事業に積

極的に活用するなど、北海道として、教師研修と英語教育関連事業との関連性を図りながら、一貫性のある取組を進める。

研修協力校において、英語教育推進リーダー（中央研修参加者）による授業公開や道内大学教授等外部専門機関から講師を招聘し、講演や指導助言等を実施することで、校内研修を充実させ、小学校教員及び中学校英語担当教師の英語力・指導力向上を図るとともに、授業参観を通して明らかになった課題や改善のための取組について、研修協力校における英語教師のみならず、北海道全体で共有を図る。

研修協力校において、外部専門機関における有識者による指導助言や講演を実施するとともに、北海道立教育研究所が開設する外国語関連研修講座に、カナダ・アルバータ州立大学教授や北海道教育大学など道内外の大学教授を講師として招聘し、講義を実施し、小学校教員及び中学校英語担当教師の英語力・指導力の向上を図る。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	英語教育推進リーダー中央研修(研修実習) (～3月) 英語検定外部試験の活用促進 (～3月)	
5月		
6月		
7月		
8月	外国語教育充実研修(小)(6～8日) 小学校外国語教育に求められる実践的指導力向上 (27～30日)	北海道教育大学教授 カナダ・アルバータ州立大学教授
9月	外国語指導助手(ALT)等の指導力向上研修 (4日(札幌市)、6日(帯広市)) 研修協力校における授業公開、指導助言(5日)	カナダ・アルバータ州立大学教授 カナダ・アルバータ州立大学教授
10月	外国語教育充実研修(中)(1～3日) 中学校・高等学校の外国語教育に求められる実践的指導力 向上研修	北東京家政大学教授 国際教養大学准教授
11月	研修協力校における授業公開、指導助言	道内大学教授等
12月		
1月		
2月	研修協力校における授業公開、指導助言	道内大学教授等
3月		
<p>【その他の取組】</p> <p>「英語教育推進校事業」を実施し、パフォーマンステストによるCAN-DOリストを活用した学習到達状況の把握を計画的に位置付けた授業改善を図る。</p> <p>英語教育推進リーダー等を活用して「小学校外国語活動巡回指導教師研修事業」を実施。</p>		

